
ねえ...快斗覚えてる??

Happy & Lucky

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ねえ…快斗覚えてる??

【コード】

N9301K

【作者名】

Happy & Lucky

【あらすじ】

青子は赤い薔薇を見るたびに思い出す…

この物語は快青です

(前書き)

私は中森青子

江古田高校に通う高校2年生

ヨロシクね!!

じゃあ本題にレッツゴー

私は、薔薇を見るたびに思い出す…

あの日、快斗と初めてあった日のコトを…

そうあの日はお父さんを時計台の前で待っているときだったかなあ…

「お父さん遅いなあ…

もうお昼過ぎているのに…」。

事件だからしょうがないのかな？」

お父さんが仕事でなかなか来なくて…

すると

「ん？オメーも誰か待ってるのか？」

と声を掛けてきた…

その人が 快斗 だったよね？

「うん…お父さんとお出かけするの…

でもお仕事忙しくていけないかもって、言ってたから…」。

快斗は少し黙っていたよね…

すると…

ポーンッ！！

小さな薔薇が一本…

そうして快斗は

「オレ、黒羽快斗ってんだ！
よろしくな！」

ニカツと白い歯を見せて笑った…

私は薔薇を受け取った後

快斗の小さなマジックショーの手品を見て、笑ってた…

それから時間が過ぎ…

「青子…！！」

「ゴメンな…！！」

お父さんが来た…

「へえ…。」

名前、青子っていうんだ…！！
よろしくな…！！」

私はその後お父さんと一緒に出かけた…

その間も私はずっと薔薇をはなさなかった…

あれから何年、何十年もたった今でも忘れないよ…

快斗と初めてあった日を…

ねえ、快斗…貴方は覚えていますか？

(後書き)

ここまで読んでくれて有難うございました

短編にしましたが長かったですでしょうか？

今後ともよろしく願います

平成22年4/17 Happy & amp; Lucky

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9301k/>

ねえ...快斗覚えてる??

2010年10月28日04時31分発行